

## 第5 2回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時：令和4年1月26日（水） 16時～16時30分
- 2 場 所：本庁3階 第三会議室
- 3 出席者：資料席次表参照
- 4 議事概要

[市長]

明日27日から、まん延防止等重点措置が岡山市にも適用される。岡山市の本日の新規感染者は477名。感染拡大の勢いが一層強まっている。

本日は、今後の対応を協議するため集まってもらった。

各局からの説明をお願いする。

### (1) 新型コロナウイルス感染状況等について【保健福祉局】

[感染症対策担当局長]

#### ・感染状況について

データは1月23日（日）時点。先週に比べ、さらに感染が拡大している。1週間当たりの検査数も、約8,500件と、これまで以上に検査件数が増加している。陽性率が20%近くになっている。本日の発表では、10万人当たり300人を超える新規感染者が出ている。強い警戒が必要なレベルに入っている。

#### ・感染者の推移

感染者数は伸びていて、未だ感染のピークが見えない。

#### ・療養状況

自宅療養者、1,390人、本日の発表でも1,400人を超えた。みなさん、軽症ではあるが、第5波のピーク700人を大きく超えている。

#### ・感染者の年代

1月以降のデータで、直近1週間と、それ以前のデータを比較すると、20歳代以下の方の感染が高い状況は継続しているが、直近では60歳代以上が徐々に増えている。今後、高齢者への感染拡大が懸念される。

#### ・応援フェーズ

既に公民館・図書館からの継続的応援をいただいているところだが、本日の477人の新規感染を受け、1週間の平均が300人を超え、応援フェーズVI相当となった。各部署には、フェーズVIの対応をお願いしたい。

併せて、本庁7階大会議室の使用も念頭に準備を進めている。各部署においては、厳しい状況にあると思うが、「岡山市業務継続計画（新型インフルエンザ等編）」適用による業務継続の判断、とりわけ会議・イベント等についての検討をお願いするとともに、最大級の応援体制の強化に向けて、ご理解・ご協力をお願いする。

#### ・感染者への対応の見直し

現在は、高齢者や基礎疾患のある方など、重症化リスクの高い方から、優先的に対応している。陽性者について、医療機関から連絡があった場合、まずは保健所から聞き取り調査、Webを利用した調査への回答依頼を全員に対して行っている。その結果を基に、優先度合いを判断して、重症化リスクの高い方、高齢者、基礎疾患のある方、妊婦などを優先的に、また、高齢者施設等の従業員などについて、優先対応としている。その他、重症化リスクの低い方はその次の対応としている。

また、重症化リスクの高い方から療養先を検討して、入院等の案内をしている。また、濃厚接触者の特定を行っていく。

#### ・濃厚接触者について

陽性者の同居家族には、今までは全て保健所で聞き取り調査をして、接触者への連絡やPCR検査の段取りをしていたが、今後は、医療機関から陽性の連絡があった場合には、保健所の連絡がなくても、同居家族の濃厚接触者については、速やかに医療機関でPCR検査を行う体制とした。

陽性者のPCR検査を実施した医療機関など身近な診療所に相談してもらいたい。同居家族以外の濃厚接触者には、引き続き、保健所から聞き取り調査後、連絡し、PCR検査を実施する。陽性者、濃厚接触者は、保健所から連絡があるまで、まずは自宅で療養等をして、連絡を待ってもらいたい。

#### ・陽性者、濃厚接触者の診療

待ってもらっている間は、体調等に不安を感じられると思うが、医療機関に、陽性者や濃厚接触者の診療について、改めて協力をお願いした。特に、自宅にいる重症化リスクの低い方や濃厚接触者の方は、市からの連絡が遅れる場合もあるので、その間に体調に変化が生じた場合は、かかりつけ医、若しくはPCR検査を受けた医療機関等に直接連絡してもらいたい。医療機関には、陽性者の診療について協力を求めており、スムーズな医療行為につなげていく体制を作っている。医療機関がわからなければ、受診・相談センターに連絡してもらいたい。

#### ・学校園で感染者が発生した場合

これまでは、個別ケース毎に、保健所で判断し、必要に応じ集団検査を行うとともに、結果が出るまで、学級閉鎖等の対応としていた。オミクロン株については潜伏期間が短く、発症まで概ね3日程度であること、陽性者の最終接触からまる4日を超えても症状が出なければ感染している可能性が低いと考えられることから、感染者の最終登校日に症状があった場合は、陽性者との最終接触日の翌日から学級閉鎖など4日間の隔離を行ない、感染拡大を防ぐこととした。

感染の急拡大に伴い、保健所の業務は多忙となっているが、感染者の健康を守ることを第一として、陽性者への優先度をつけた対応、医療機関による同居家族の検査、陽性者、濃厚接触者への有症状時の医療提供の体制を確保することで、保健所を機能を維持させてい

く。

・ワクチンの一般高齢者及び64歳以下の前倒し接種について

まず資料8ページ、「国の方針」が出ている。今年1月13日の厚労省の事務連絡で、令和4年3月以降、一般高齢者は2回目接種から「6か月以上」に前倒し、また、64歳以下についても3月以降、「7か月以上」に前倒しできるとの方針が出た。これに加え、「一定の完了が見込まれた時点で、3月より前に、前倒し接種を検討する」旨が示されている。また、「前倒しの結果、7カ月未満で接種しても可」とされていることから、岡山市では、1月中に高齢者の9割に接種券を発送し、接種の進捗に一定の目途もつくことなどから、国の方針も受け、一般高齢者及び64歳以下の方についても前倒しを行うこととした。

岡山市では、一般高齢者に加え、64歳以下についても、2月15日以降の接種券等発送時期を早めることで、接種時期を前倒しする。また、接種券等の発送回数を月2回に増やすことで、最短で「6か月経過直後」、遅くとも「6か月半」で予約・接種が可能となる。

下の表で、2回目接種の時期と発送時期を目安に記載している。なお、2月15日以降は予約の混雑も想定されるので、既に手元に書類が届いている方、1月31日に送る高齢者の方は、なるべく早めに予約や接種をしてもらいたい。

・3回目接種の予約状況について

市内の個別医療機関では、日によるものの、予約が空いている状況。また、武田/モデルナ社ワクチンについては、比較的予約が取りやすいと聞いている。このほか、先週21日から開始した岡山市集団接種会場においても、連日100枠以上の接種枠が空いている。

岡山市においては、接種券等の前倒し発送、各医療機関の協力による接種体制の拡充、会場内での感染予防対策等、接種の促進に向けた体制を十分に整えている。

寒い時期であることや市中感染の拡大などにより接種を見合わせている方もいると思うが、若い世代の接種が始まると予約が取りにくくなることも想定されるので、接種券のある方は、ぜひ、早いタイミングでの接種を検討してもらいたい。

[保健所長]

各局からのご支援に心よりお礼申し上げます。

現在、患者は激増している。特に施設での多数の患者発生が相次いでいるが、基本的には各地域からの持ち込みなので、感染予防についてはこの間強化いただきたい。

もう1点、コロナに関して重症患者はごく少数。高い発熱は多いが、救急受診しなければ危ないということはない。現在、救急病院から多数の届が出されている。そういったことが医療崩壊をもたらす危険があるので、救急受診を控えてもらい、通常の診療所での診断をお願いする。

[市長]

保健所を通さずに直接医療機関に連絡してほしいとのことだったが、これは医師会など医療機関との調整はできていると認識しているのか。

[感染症対策担当局長]

まず医師会をお願いして、協力してもらっている医療機関にも個別で通知を出してお願いしている。

[市長]

したがってこのフローチャートは、医師会、医療機関の了解のもとにやっている理解でいいか。

[感染症対策担当局長]

この流れで大丈夫である。

## (2) 業務継続計画（BCP）に基づく保健所体制の維持について【総務局】

[総務局長]

前回の本部会議で「業務継続計画に基づく保健所体制の維持について」ご説明したが、ただいま感染症対策担当局長から説明があったように、保健所応援フェーズがVIに移行したため、各局において、前回の資料でお示した「フェーズVIにおける対応方針」に基づき、保健所業務への応援要員の確保に一層のご協力をお願いする。

これに加えて、現在、職場でも感染者が増えている。今後、各職場で陽性者や濃厚接触者が多数発生し、最悪の場合、出勤できない職員が一気に増加して、通常業務が継続できなくなる事態も想定しておかなければならない。そのため、事前に通知しているが、各局においては、所属職員の出勤状況の把握に努めるとともに、必要な市民サービスを維持するため、局内の相互協力体制や、業務継続計画（BCP）に基づく業務の休止・縮小など、状況に応じて適切に対応してもらうようお願いする。

[市長]

都市整備局でクラスターが出ているが、一般の市民に直接影響を与える都市整備局の業務の縮小は今はないと見ていいか。

[総務局長]

直接そういうものはないと聞いている。

## (3) イベント等の開催制限の一部強化について【危機管理室】

[危機管理監]

まず、感染防止安全計画を策定し県に提出しているイベントについて。これは大声なしでの

開催が前提となっており、現状では、人数上限を収容定員までとしているが、この人数上限を、20,000人及び収容率100%のいずれか小さい方を限度とする。

続いて、感染防止安全計画を策定しないイベントについて。現在人数上限は、5,000人、又は収容定員の50%のいずれか大きい方となっている。これを、人数上限5,000人、収容率を、現行どおり、大声なしの場合100%、大声ありの場合50%として、上限人数又は収容率のいずれか小さい方を限度とする。

この新たな制限の適用期間は、明日1月27日から2月20日までとする。

次に、資料はないが、観光施設・スポーツ施設などの市有施設の対応について。今月の新規感染者への聞き取り調査において、これらの市有施設において感染源となった事例がないことから、市民の皆さまの日常生活に影響が生じる臨時休館や利用時間短縮などの措置は、実施しないこととする。

#### **(4) コロナにより市の公共施設のキャンセルする場合の料金還付について【財政局】**

[財政局長]

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、市の公共施設において、利用予約を取り消した場合、既に納付している施設使用料、利用料金を全額還付することとしている。これは令和2年2月20日からの措置で、現在も継続中であるが、周知のため、改めて知らせるもの。また、未納の場合のキャンセル料も不要としている。

#### **(5) 保育園・認定こども園、市立幼稚園、放課後児童クラブについて【岡山っ子育成局】**

[岡山っ子育成局長]

保育園・認定こども園、市立幼稚園、放課後児童クラブにおいては、通常どおり、開園・開所とするが、陽性者が出た場合、その状況に応じて対応する。

[市長]

今の状況で、保育園、こども園で閉館せざるを得ないというものはないということでよいか。

[岡山っ子育成局長]

陽性者は散発している。保育園・保育所で2箇所、2、3日休園したところはあるが、一律に要請することは考えていない。

[市長]

この時点で休園は2箇所ということか。

[岡山っ子育成局長]

これまでに2箇所、そういう状況にあったが、1か所は既に開園した。

[市長]

現在、休園しているのは1箇所か。

[岡山っ子育成局]

そうである。

## (6) 救急搬送困難事案とコロナ移送の推移について【消防局】

[消防局長]

搬送困難事案は、1月10日の週から1月17日の週には75%減少し、4件となっている。

感染者の移送件数は増加傾向にあるが、救急隊の稼働状況には大きな変化はない。そのため、現在のところ、第4波、第5波の際に実施した救急隊の増隊までは必要ないと考えている。

ただし、今後の感染拡大や移送の状況を見ながら、必要であれば直ちに増隊等の対応が取れるよう備えている

## 5 本部長まとめ

新型コロナの新規感染者数は、本日1月26日、477名となるなど急拡大をしている。この新規感染者の拡大、併せて自宅療養者の急増に伴い、重症化リスクの高い方を確実に把握し、早期に療養してもらうため、陽性者、また濃厚接触者の方への対応スキームを再構築した。

陽性者、濃厚接触者の方においては、ホームページに掲載したフローチャートをご確認してもらい、安心して療養してもらいたい。

3回目のワクチン接種については、高齢者の方の円滑な接種をお願いする。集団接種会場の予約にまだ十分空きがあるので、ぜひ利用いただくよう、お願いする。

64歳以下の方への3回目接種については、国の方針を踏まえ、2月15日から、6か月経過後の方に、予診票を順次郵送する。

保育園・放課後児童クラブ及び市有施設については、現段階では新たな休止や閉鎖、時短は行わない。なお、市有施設については、コロナ感染拡大によるキャンセルに対して、使用料をお返しする制度を継続しているので、利用中止等の判断を行う際の参考にしてもらいたい。